

「ずかん ウイルス」、武村政春(監修)、宮沢孝幸(著)、発行:株式会社技術評論社、
〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13、TEL:03-3513-6150、
B5 変型版、127 ページ、2020 年 10 月 10 日 発刊、価格:2,680 円(税別)、
ISBN:978-4-297-11513-5

本書の監修者である武村政春氏は、巨大ウイルス(ミミウイルス、他)の発見に大きな業績を残されている研究者である。また、著者の宮沢孝幸氏は、30 数年間ウイルス学を追究されている研究者である。本書は、上記 2 名の方々が、ウイルスの現状等を分かりやすく図鑑としてまとめられた書籍である。

著者らは、本書の解説として、「難解なウイルスを、超わかりやすく解説したよ!」、「全世界で猛威をふるう新型コロナウイルス。おかげで「ウイルス」という言葉にすっかり慣れてしまいました。ウイルスってそもそも一体何だろう。」、「細菌と何が違うの? ウイルスは生物なの? 単なる物質なの? ウイルスの変異って、そもそも変異って何?」と述べている。

また、「私たちの身の周りにもたくさん存在するウイルス。ある意味でとても身近なものなのに、「ウイルス」の実態はほとんど理解されていません。ウイルスの実態をもっとよく知ってほしい、ということで生まれたのが、『ずかんウイルス』である」と述べている。

同様に、「この本は、「ウイルスそのもの」に注目し、美しい写真をメインに、コミカルなイラストとともに、ウイルスをわかりやすく解説している。」と述べている。また、「細菌とウイルスの違いって何」、「カプシドやらエンベロープってなんぞ」、「DNA ウイルスやら RNA ウイルスって……何それ」、「ウイルスは人に悪さばかりするの」が、まとめられている。さらに、「ウイルスにまつわる数多くの疑問も、本書を読めばよくわかる!」、「身近にあふれるウイルスの世界を、存分にご覧ください。」と著者らは解説している。

また、本書は、コラムも充実している。「大人も正しい知識が増える。」、「ウイルスに対する造詣がさらに深まる。」、「微生物制御の立場でのウイルス制御への導入に対する多くのヒントが得られる可能性がある。」、および「ウイルスのことをより理解できる。」とされている。

次に、本書の目次を以下に示す。

1 章は、「ウイルスって何だろう?」と題して、ウイルスは悪者なの?、ウイルスの大きさ、目に見えなくてもそこら中にいるウイルス、ウイルスの構造、ウイルスは物質、ウイルスのふえ方、ウイルスのなかま分け、およびウイルス Q&A が述べられている。また、特集として、ウイルスを「小さすぎて色もない」と解説し、一方、コラムで、セントラルドグマおよび PCR のしくみを解説している。

2 章は、人に感染するウイルスずかんと題して、アデノウイルス、単純ヘルペスウイルス、水

痘・带状疱疹ウイルス、サイトメガロウイルス、天然痘ウイルス、およびその他 28 種類のウイルスが解説されている。また、特集として、ウイルスによるパンデミックの歴史、ウイルスの発見、人の体とウイルス、感染経路のいろいろ、ワクチンと薬①:ワクチン、およびワクチンと薬②:抗ウイルス薬が述べられている。さらに、コラムとして、感染症の法律、ウイルスにかかわる機関、バイオセーフティレベル、および病気の原因はウイルス? 細菌?が解説されている。

3 章は、動物に感染するウイルスずかんと題して、牛痘ウイルス、アフリカ豚熱ウイルス、ラナウイルス、口蹄疫ウイルス、牛痘ウイルス、狂犬病ウイルス、リフトバレー熱ウイルス、およびラウス肉腫ウイルスが解説されている。また、コラムとして、ウイルスを運ぶ動物たち、および昆虫をあやつるウイルスが述べられている。さらに、特集として、ウイロイドとプリオン、人と動物の共通感染症、およびペットがかかるウイルスの病気が取り上げられている。

4 章は、植物や細菌に感染するウイルスずかんと題して、タバコモザイクウイルス、トマト黄化えそウイルス、カリフラワーモザイクウイルス、腸内細菌ファージラムダ、および腸内細菌ファージ T4 が解説されている。また、コラムとして、チューリップを美しくしたウイルス、およびおもしろいウイルスが述べられている。さらに、特集として、ウイルスの利用(①、②)が解説されている。

また、5 章では、巨大ウイルスとこれからのウイルス研究と題して、巨大ウイルスとは?、ミミウイルス、パンドラウイルス、ピソウイルス、トーキョーウイルス、メドゥーサウイルス、ウイルス研究から生命の進化を考える(①、②)、およびウイルスと地球が解説されている。また、コラムとして、こちらウイルス研究室が述べられている。

最後になるが、本書は、日本防菌防黴学会あるいは関連分野で、ウイルス学を学ぼうとしている方々、現在、本格的にウイルス研究に従事されておられる研究者、ならびに微生物制御分野の試験・研究等に携わっておられる方々に、ぜひお勧めしたい書籍である(元近畿大学 坂上 吉一)。